

<黄色いリボン講演会（1年）>（6/14）

六中の「黄色いリボン」の取り組みを始めた戸高晋平さん（第10期生徒会長）にお越しいただき、黄色いリボン活動のについてのお話を聞きました。



「いじめを何とか克服したい」という熱い思いをお聞きすることができました。『こころのチキンスープ』という本から始まった黄色いリボン、20年たった今でも続いているということは、それだけ価値のある取り組みなのですね。

〔生徒の感想から〕

「黄色いリボンの意味を考え、誇りを持って付ける。いじめられている人たちがいたら助けてあげたいし、自分も、人が嫌だと思ふことは、やる前に考えてから行動したい」

六中の大事な活動として、これからも続けていきたいです。